



春の県大会・山陰大会で優勝しました

次は甲子園をめざします！

矢上高校の野球部のみなさんです

6月
定例会
特集

今月の
注目！

- 2つの大規模事業完成間近 (2)
- 意見交換会を開催します (16)

6月
定例会

大規模事業 完成間近！

6月定例会を6月3日から6月13日にわたって開催し、町長提出議案12件、陳情1件、請願1件、発委1件を審議し、すべてを可決しました。

令和4年度から始まった新道の駅「邑南の里」の整備事業、石見中学校建替え事業が行われていましたが、両事業とも最終段階に入り完成に近づいています。

道の駅瑞穂再整備事業は、「12地区をつなぐ道の駅」として、これまでの賑いを町全域へ、より大きな経済波及効果をもたらす集客施設を目的として計画しました。

平成15年に売り場拡張し、現在の道の駅瑞穂が営業を開始して今年で22年を迎えました。集客施設としてのみならず、「おおなんバス」12路線の乗入れがある交通拠点でもあります。広島を中心に遠方からの来客により売上げを伸ばし続け、基幹産業のひとつである農業振興に寄与してきた拠点のひとつです。

8月4日オープン決定 新道の駅「邑南の里」

よう、そして農産物などの出荷スペースもこれまでの3倍の売り場面積と、広々とした空間に仕上がっていました。テナントスペースでは、「みずほの幸」が定食がある店舗を予定、「は

おもにいはつす」がパン屋を予定されているなど、飲食も充実していきます。外には、芝生が張り巡らされた子ども広場、キッズコーナーや露天商が開店できるイベント広場、近代的な空間に生まれ変わり、ぶどうの神紅もこれから売り場を賑わせ、新しい拠点をめざします。



6月に完成間近の「邑南の里」を視察しました

7月末で全ての工事が完了

石見中学校の改築

今から60年前の昭和40年9月に矢上中学校、邑智中学校、日貫中学校、日和中学校を統合し、石見中学校を開校しました。3年後新校舎落成式が行われ、当時の生徒数は531名でした。同年には寄宿舎冠山寮が開設され、平成に入ってから、コンピュータ室や被服室の設置、給食セン



新校舎の石見中学校

教科センター方式を取り入れた校舎で、新たな歴史を刻んでくれることでしょう。

長い間、子どもたちの学び舎として支えてくれた旧校舎から、新たな時代を支えてくれる新校舎は、現在、校庭外構整備を最後に7月末で全ての工事が終了し完成が見えてきました。

ターの分離新築移転と時代の流れに心えてきました。子どもたちの成長と共に歩んできた石見中学校の校舎は、老朽化や耐震強度の問題、生徒数の減少、何より最新の教育を受けられる環境を取り入れた構想で、令和2年に基本構想を策定し建替え事業が始まりました。

=基本構想から完成まで=

石見中学校		道の駅「邑南の里」	
令和2年4月	基本計画・構想策定	平成29年	基本構想策定
令和4年3月	実施設計完了	令和3年5月	敷地造成設計
令和4年9月	工事請負契約の締結・起工式	令和4年3月	基本設計完了（建築）
令和6年5月	工事完成	令和5年2月	造成工事着手
令和6年6月	竣工式	令和5年3月	実施設計完了（建築）
令和6年8月	開校	令和6年2月	新名称決定「邑南の里」
令和7年7月	校庭外構整備工事完了で全ての工事が終了	令和6年4月	本体建築工事着手
		令和7年6月	工事完成
		令和7年8月4日	グランドオープン



オープンを待つ「邑南の里」

地域公共交通計画を策定

邑南町では平成31年に「地域公共交通網形成計画」を策定しています。この計画が今年9月で終了するにあたり、新たな「地域公共交通計画」が策定され、議会に報告されました。

計画では、アンケート結果や、今までの取組みの評価から課題をまとめ、そこから「ともに創り、暮らしを支える持続可能な公共交通」を基本理念とし、

- ①公共交通の持続したサービス提供
 - ②身近な移動手段の確保
 - ③利便性向上と利用促進の3点の基本目標を掲げています。
- また、目標達成に向け
- ①おおなんバス運行内容の見直し
 - ②安全で継続した運行管理・運行体制の構築
 - ③暮らしを支える地域内交通の継続
 - ④通学や部活動改革に対応した運行



町民の足として活躍している町営バス

- ⑤福祉サービスの検討
- ⑥交通の結節点やバス停の点検と計画的な整備
- ⑦わかりやすい情報提供と利用促進

の事業を上げ、5年間の計画期間中のスケジュールや、評価指標も掲げています。

人口減少、高齢化が進む中、地域生活交通の基礎となる公共交通の安定的な運行が望まれます。

霧の湯 再オープン

霧の湯は、江の川・さくらライン観光推進機構が、香遊館や香木の森公園と一体で指定管理者の指定を受け、4月24日から再開しています。

再開にあたっては、加熱熱源を灯油ボイラーから薪ボイラーに更新するなどの改修を行いました。暫く

いじめ防止 基本方針を改定

邑南町では平成26年に「いじめ防止基本方針」を策定し、学校・保護者・地域が連携していじめ防止対策に取り組んできました。

しかし、令和3年度から4年度にかけて4件の重大事案が発生しています。教育委員会では「教職員のい

じめに対する認知不足」「初動・組織対応の遅れ」「被害者・加害者・保護者への説明不足」を原因と捉え、これらに対応するために「いじめ防止基本方針」の一部を改訂され、議会に報告がありました。

今回の改訂では「いじめに対する理解や態様」「対応方法の基本的・具体的な考え方」「児童生徒や保護者に寄り添った対応」について詳細を述べています。

また、早期発見や組織的対応に繋げるため「いじめ事案対応」と「緊急事態対応」の2つのフローチャートも作成されています。

議会からは、多様な居場所の必要性や、教育委員会だけでなく町長部局での対応を取り入れること、教職員を含めた大人がいじめの加害者になり得ることなどの意見や提案がありました。

いつ、どこでも、誰にでもいじめは起こり得るのだという認識を持ちましょう。

産地化に 向けて

ぶどう 神紅

本年度4月時点の神紅に関する状況は、地域おこし協力隊として10名が研修され、研修終了者8名が自営で就農されています。

リースハウスは、令和2年度から5年間で43棟、面積にして約4.2haが整備されており、本年度は更に約0.4haの整備が計画されています。

整備開始初年度のハウスでは、本年度で5年生樹の成園となるため、本格的にJA出荷を開始した昨年度を上回る出荷が期待されます。

生産者の皆さんも8月中旬からの出荷に向けて栽培管理に取り組みされており、生育状況も概ね順調と聞いています。



これから色づき始めるぶどう「神紅」令和7年産

続々と地域運営組織

地域コミュニティ再編は

町では、地域運営組織の設立への経費の補助や支援を行っています。

現在の状況は、昨年度に編成された井原自治会と、ひぬい自治会、既に地区単位の自治会である出羽自治会の3団体が認定されています。3団体とも町と委託

契約をしている地域マネージャーを配置し、各地区公民館を拠点に活動を開始しています。

現在、設立を検討中の阿須那地区、中野地区、今から議論を始める予定の日和地区などで動きがあり、各地区それぞれのやり方で、持続可能な地域コミュニティの形成に向けて取り組んでおられます。

昨年に続いての増税

国民健康保険税

国民健康保険税の税率引き上げが提案され、その内容が定められた「国民健康保険条例の一部改正案」を可決しました。

被保険者数、世帯数とも減少傾向の中、令和5年度より医療費実績が増加しています。

令和7年度の当初予算は、基金を約2800万円取り崩し編成してまいりました。取り崩し後の基金残高は約5200万円です。

安定的な制度運営には約7000万円の基金保有を目安としています。

このため、令和6年度の所得額、医療費推計、基金保有額などを踏まえ算定し

た結果、国保税が引き上げられました。

モデル世帯で見ると、年金収入82万円の1人世帯（7割軽減）で800円の増額。年金収入190万円、妻の給与収入115万円、子ども2人の4人世帯で4800円の増額となります。

円増額。夫が年金収入220万円、妻が年金収入170万円の2人世帯（2割軽減）で1700円の増額。夫の給与収入325万円、妻の給与収入115万円、子ども2人の4人世帯で4800円の増額となります。

円増額。夫が年金収入220万円、妻が年金収入170万円の2人世帯（2割軽減）で1700円の増額。夫の給与収入325万円、妻の給与収入115万円、子ども2人の4人世帯で4800円の増額となります。

	所得割合	均等割額	平等割額
医療分	5.73%	23,300円	14,400円
後期支援金分	2.07%	8,400円	5,200円
介護納付金分	1.90%	9,400円	4,800円

陳情と意見書

地方財政の充実・強化を求める意見書の提出を求める陳情

採択



総務教民常任委員会
奈須委員長

この陳情は、邑南町職員連合労働組合執行委員長小笠原淳氏から提出されました。地方公共団体では、社会保障制度の整備、脱炭素化、物価高騰対策など、多岐にわたる対応が求められています。

「地方財政の充実・強化」を求める意見書を国および国会に提出することを求めています。

総務教民常任委員会で審議した結果、全員賛成で採択しました。

地方財政の充実・強化を求める意見書

① 増大する地方公共団体の財政需要を的確に把握し、積極的な地方財源の確保。

② 社会保障経費の拡充と人材確保

③ 地方交付税の法定率を引き上げ、自立的な地方財政の確立に取り組むこと

④ 「地方創生推進費」1兆円は恒久的財源とする

⑤ 会計年度任用職員の勤勉手当支給の継続と更なる処遇改善の財源確保

⑥ 職員給与諸手当の支給水準による特別交付税減額措

討論

国民健康保険税条例の一部改正

反対

日高八重美 議員



令和7年度の一人当たりの国保料は7万4千円あまりで、昨年より5700円の値上がりをしています。国保の被保険者数及び世帯数は減少が続く一方で、一人当たりの医療費は増加し国保料を払いたくても払えない人もいます。国保税を引き下げよと求め、町民の暮らしを守ることが自治体の役割です。物価高で生活が苦しい中、国保税の値上げをする本議案に反対します。

請願

見守りを併せ行う買い物弱者支援について

採択

この請願は、合同会社にご丸 代表社員上田元春氏から提出されました。邑南町の地区別戦略事業で中野地区が実施してきた「見守りを併せ行う買い物弱者支援事業（移動販売車見守りスーパールにご丸くん運行）」について、地区別戦略事業終了後も継続支援を求める請願です。

総務教民常任委員会で審議した結果、買い物弱者支援、高齢者の見守りという福祉の観点から、全町的な課題として捉える必要があると判断しました。また、一事業所の事業継続に限定せず、全町的な事業化を考える中で、さまざまな取組みに対応できる施策を求める意見を附することで意見は一致し、全員賛成でこの請願は採択しました。

6月定例会 議案の ゆくえ

今議会の主な議案を紹介
します。

「財産の取得」は、消
防車の老朽化による更
新。東給食センターの食
器洗浄機の老朽化による
更新です。

「特別職の職員で非常
勤のものの報酬及び費用
弁償に関する条例の一部
改正」は、行政不服審査
委員会委員と、情報公開
個人情報保護審査会委員
にも報酬を確保するため
のものです。

「条例の一部改正」
は、主に加熱式たばこは
重量による税率だったも
のを、本数に変換するも
の
です。

「国民健康保険税条例
の一部改正」は、昨年度

に続き税率の引上げをす
るものです。(5ページ
参照)

「工事請負契約の締結」
は、高原小学校の2期目
の改修工事と、いわみス
タジアムの照明をLED
化する工事です。

「工事請負契約の変更
契約の締結」は、石見中
学校旧校舎跡地地盤が軟
弱なことが判明し、土壌
改良が必要となったこと
による増額の契約を締結
するものです。

「一般会計補正予算第
2号」は、主に、令和6
年度の定額減税の際に、
定額減税し切れない見込
みの方に、本来の金額と
の差額を不足額給付金と
して支給するものです。

6月定例会 全員賛成にならなかった議案

○=賛成、●=反対、- =除斥、欠=欠席

区分	議案の内容	石國	奈須	鍵本	野田	日高	瀧田	平野	宮田	中村	山中	辰田	結果
条例	国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	可決

令和7年度6月補正

	当初予算の額	5月補正後の額	6月補正額	6月補正後の額
一般会計	136億6300万円	134億4289万円	5912万円	135億201万円
国民健康保険	13億390万円	13億390万円	2141万円	13億2531万円
直営診療所	1億4300万円	1億4300万円	△25万円	1億4275万円
後期高齢者医療	4億4100万円	4億4100万円	-	4億4100万円
電気通信	5億2700万円	5億2700万円	-	5億2700万円
特別会計合計	24億1490万円	24億1490万円	2116万円	24億3606万円
総合計	160億7790万円	158億5779万円	8028万円	159億3807万円

令和7年度水道事業会計6月補正

		当初予算の額	6月補正額	6月補正後の額
収益的収支	収入	3億7623万円	-	3億7623万円
	支出	4億508万円	-	4億508万円
資本的収支	収入	4億2989万円	2709万円	4億5698万円
	支出	5億8497万円	3039万円	6億1536万円

※千円以下で四捨五入しているため実際の数字と差異が発生しています。

※下水道事業会計の補正はありませんでした。

いっぱん質問



質問者と質問内容

順番	議員名	質問内容	ページ
1	日高八重美	(1) 子どもも親も安心できる居場所づくり (2) 生活交通の利便性の向上 (3) 定住できる施策を求める	9
2	平野 一成	(1) 人口減少への対処の考え方 (2) 邑南の教育の推進体制	10
3	石國佳壽子	(1) 空家対策 (2) 空家の有効利用 (3) 道路に出ている竹木	11
4	鍵本 亜紀	(1) 空家の利活用 (2) 子育て日本一の邑南町として	12
5	宮田 博	(1) 事務事業の現状 (2) 事務事業の評価と見直し (3) 内部統制の取り組みと行政改善	13
6	山中 康樹	(1) 本町はどの方向に進んで行くのか (2) いわみスタジアム改修工事と瑞穂野球場	14
7	野田 佳文	(1) 議員のなり手不足 (2) IoTによる見守り対策 (3) 新たな居場所づくり (4) デジタル・デバイド対策	15

一般質問とは・・・議員が町の行財政全般について、執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるもの。通告制であり、本町では一問一答方式、制限時間60分としている。

ガツテン!! 一般質問

4年前に議長で退任致しましたので、一般質問の席に立つのは実に何年ぶりになることでしょうか▼5名の新しい議員の顔、執行部席には大屋町長をはじめ三役の皆さん、ほとんどの課長が変わられていました▼一般質問席から見える景色は短いようで長い4年間で、政治は休みなしで動いていることを痛感しました▼議員は行政の監視と住民の声を議会と行政に反映させることが責務で、一般質問もそのひとつです▼一般質問で切り込んでいくことは膨大な量の下調べや情報収集が必要で、その為には平素より住民の皆さんの声を聞くことです▼初心にかえる気持ちで町民の代表者として付託に応えるべく努めます。

山中康樹

ひだかやえみ
日本共産党 日高八重美 議員

安心して過ごせる居場所を



教育長 保護者の思いも共有していく

日高八重美議員

町民から「邑南町には不登校や、学校に行きづらい子どもの居場所がない。地域の人も利用できる居場所づくりを」との声がある。教育方針にもある居場所づくりを進めるにあたり、現在の状況について問う。

大橋教育長

教育支援センターだけのご学級を中心に、学習面では個別指導や少人数での学習支援、学習の遅れへの対応や基礎学力の向上に取り組んでいる。心理面ではスクールカウンセラーと連携し児童生徒の気持ちに寄り添い、定期的に相談対応を

している。集団生活への適応など安心して過ごせるよう支援をしている。

今年度は、保健室や図書室の一角、空き教室の活用で校内教育支援センターの検証を始めています。

日高議員

「居場所」がないという町民と教育委員会の取り組み方に認識のずれはないか。不登校児童生徒に対し、学習支援に重きが置かれていないか。長い目で子どもの育ちを見守り、寄り添い続けるまなざしと姿勢が必要だ。

大橋教育長

多様な学習、学びの機会が求められており、学習の遅れによる不安を安心に変えていく取り組みを行っている。

居場所のあり方について



はすみ振興会のデマンド交通

は、教育支援センターだけでなく、保護者の思いも共有しながら模索していく。

大屋町長

不登校児童生徒の居場所づくりは、教育支援センターを中心に十分行われている。教育を保障できる場をつくり、自己肯定感を持つ町づくりに努める。

問 利便性のある生活交通に

日高議員

高齢者は、自動車の運転ができなくなった時の生活全般に不安がある。タクシ

ーやデマンド交通の運行地域のことで、デマンドの当日予約などの要望がある。町外利用者も含めた利便性を高めるための方策はあるか。

答 利便性向上の研究を進める

田村地域みらい課長

おおなんバスは、町内利用者の生活交通として位置づけられている。通院や通学などのために時刻表が設定されており、邑南の里が開業するにあたり、より良い制度になるよう進めていく。

その他の質問

日高議員は、2地域居住者の中には邑南町に愛着をもち、何かお役に立てることとはないかと模索されている方もいる。そういう方々の力も活用して地域づくりができないかと質問しました。

人口減少にどう対処する

ひらの いっせい
平野一成 議員

町長 自己肯定感を持てる仕組みを

平野一成議員
町の持続的発展のため、人口減少に対する施策に関して、町の考えを問う。

大屋町長
人口減少への対応は国、邑南町にとって大きな課題だと思っている。私の町政運営の基本方針として、個人の尊厳を守り自分らしく活躍できる社会、人と人のつながりのある住み心地の良い町をめざすと言っている。働く場所、給料の格差、住宅施策などの議論もあるが、経済的に負担の無い範囲で負担はしていた。大きな負担はしていただきながら、この町に住んで、働くことへの安心感・自己



肯定感を生み出せるような仕組みを検討したい。あわせて20代・30代の人をどう応援していくかは重要と考える。

平野議員
年少人口が減少傾向にある。町の対応は。

田村地域みらい課長
第2次総合振興計画で想定した人口1万人の維持を見据えて地区別戦略事業や子育て支援、矢上高校支援等の事業を展開してきた。人口減少の割合は抑制されてはいるが、減少の流れは続いている。現在策定作業に入っている第3次総合振興計画の中で30年後の人口目標の設定議論の起点を5千人と推定し、10年後の推計値を7800人としている。その中で、0歳から14歳の年少人口比率を一定の割合を維持し、その世代が生き生きと生活できる町を目標に掲げ、施策を展開していきたい。

平野議員
農業等、産業分野での担い手不足にどう対応して

いくのか。

小笠原産業支援課長

大きな課題と認識している。これまでも国・県の事業や森林環境譲与税の活用などで各種の新規就労の支援を行っている。神紅の産地化による新規就農者確保や町内の進出企業人材確保策、矢上高校との連携など、さらなる人材確保策を検討している。

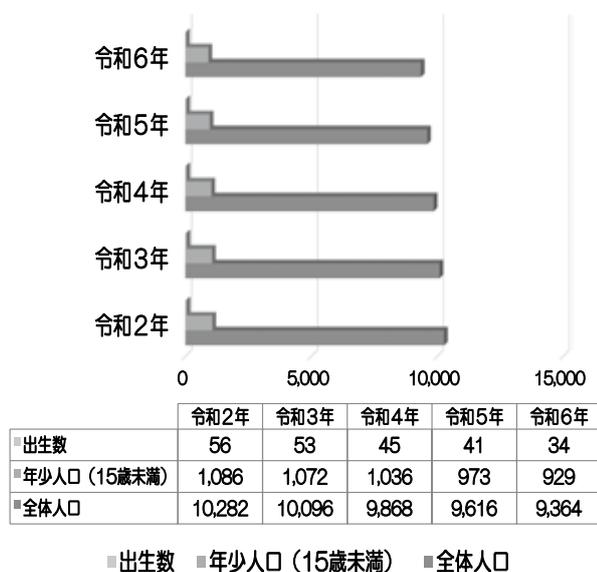
平野議員

地域社会での担い手・後継者不足への対応は。

田村地域みらい課長

まちづくり基本条例を基に、自分たちの地域は自ら

邑南町人口推移



資料提供：町民課

その他の質問

平野議員は他に、町長、教育長に対し総合教育会議等で町長部局と教育委員会との連携をより深めるよう要望しました。

いしくに かずこ
石國佳壽子 議員

安全な町づくりの強化を



課長 安全管理の協力を求める

石國佳壽子議員

全国の空家が900万個に達する中、町内で管理放棄された危険性の高い空家、いわゆる特定空家の件数と基準は。

沖野資産経営課長

邑南町には明確な認定基準はないが国のガイドラインで判断している。情報提供を受けデータベース化、所有者に適切な管理の要請を行い、解体や修繕等の改善例もある。

石國議員

家屋解体に対する補助金はあるのか。

沖野資産経営課長

老朽危険空家除去支援事

業補助金、解体後跡地利用の条件がある補助金、空家を改修して賃貸住宅経営のための補助金の3つの補助金がある。

石國議員

家屋解体が進まない要因の一つに解体後固定資産税が上がることではないか。固定資産税の減免等の対策を取り入れてはどうか。

森田財務課長

住宅用地特例は、居住家屋の敷地に対し固定資産税を軽減する制度だ。空家解体で特例が外れ税負担増となるため、解体が進まない一因となっている。他自治体では解体後の固定資産税を減免する例もあり、邑南町も他事例を参考に、邑智郡内、他町と情報交換し減免を研究する。

石國議員

特定空家を増やさないと前向きに検討を求める。現在の町営住宅の数と今後の町営住宅の計画は。

沖野資産経営課長

現在451件あり、内89件が空室。老朽化も多いこ

とから適正個数に減らしたい。

石國議員

空家の中でも修繕した後、居住できるレベルの住居、それを貸しても良いという家屋の件数を把握しているか。

田村地域みらい課長

空家バンク登録で居住できるものが12件ある。売買希望8件、賃貸希望1件、どちらでも対応できるが3件ある。

石國議員

空家対策に地方創生交付金を活用し、自治会主導で改修・運営を検討し、UIターンを促進し、コンパクトシティに繋げては。

田村地域課長

空家対策には既存の民間賃貸住宅建設支援事業を活用、地域団体への管理委託も視野に民間活力導入で住宅整備を推進する。

石國議員

越境竹木の危険性について、法改正を踏まえ、道路へ越境している竹木の土地所有者への対応と、道路法

違反箇所の把握状況は。

小笠原建設課長

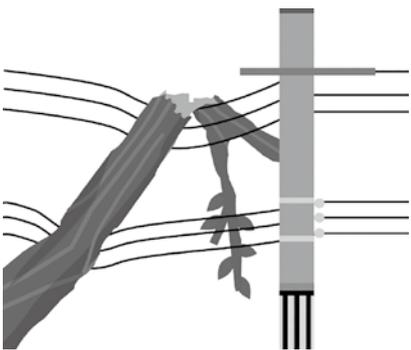
越境竹木は所有者対応が原則。道路パトロールや町民からの情報提供で危険箇所を把握、緊急的に道路管理者で伐採している。

石國議員

越境竹木による自己責任を懸念、規制条例の制定や行政代執行等、強制的な対策の必要性を問う。

小笠原建設課長

罰金条例制定や行政代執行は現状考えていない。今は事後発生時に検討し、町ホームページで注意喚起を行い、道路の安全管理への協力を改めて町民に呼びかけ、事故防止に努める。



子育て世帯を増やすには

かぎもと あき
鍵本亜紀 議員

町長 教育の質を高め選んで もらえる町に



鍵本亜紀議員

都市部では災害や犯罪などへの危機感が高まっている。邑南町は水も空気も綺麗で標高も高く、食糧生産地であり地域のコミュニティもある。大きな災害が来る前に移住者を呼びたい。特に子育て世帯を呼びたい。

小学校の耐震工事と給食センターの食洗機に高額の予算が組まれているが、同時に恩恵に預かれる子どもを増やすこともするべきでは。

大屋町長

子育て世帯を呼び込むと言つ事では、邑南町の教育

の質を高め、選んでいただけるようにしたい。若い人々には都市部との賃金格差是正や、将来的には20代30代の方々への応援もしていきたい。妊婦さんや赤ちゃんへの支援は引き続き丁寧によつていく。大人になるまでの支援を満遍なくやつていく。

問 学校ホームページの活用は

ページの活用は

鍵本議員

町内各校では邑南町ならではの地域で子育てを独自でされている。小学校のホームページを作り、その魅力を広く発信し、移住希望者の選択肢に入るようにはどうか。

答 引き続き学校を

支援していく

原学びのまち総務課長

日貴小、口羽小はホームページがある。ICT支援員の協力のもと画像デザインソフト canva を使って



子どもが考案した「ダルマさんが転んだ」方式の玉入れで盛り上がる

その他の質問

鍵本議員はこの他に、3

年前に行政協力員さんの協力のもとに得た空き家の状況把握データを、移住者に向けた利活用を生かすつもりはないか質問しました。

鍵本議員

取り組んでいるが、学校は業務多忙で更新も難しい。

canva なら使いやすく、ICT教育そのものだ。自分達の学校の様子を自分たちで配信すれば、生きた教材としてやりがいや自信に繋がると思う。

みやたひろし
宮田博 議員

事務事業の現状と見直しは

町長 事務負担の軽減と 効率化を探求する



宮田博議員

本町の事務事業は、人口減少・高齢化、行政資源（財源）の減少等、悪化傾向にある環境等の変化に対応し、財政規模に適合しているか。

高瀬総務課長

地方分権の推進と、人口減少、少子高齢化、多様な住民ニーズ等への対応により、事務事業量が限界に達しつつあり、今後は見直しや、業務の効率化が急務と考える。

森田財務課長

行政システム標準化対応、人件費の上昇、行政サービス充実のための町単独

事業等で、事務事業は増加傾向にある。

7年度の予算編成では、財源不足を、財政調整基金を取崩して編成したが、真に必要な行政サービスについて、必要性や有効性を見直すことが必要と考える。

宮田議員

多くの事業・施策を実現するためには、特に重点事業について、事業の評価が必要と考えるが、どのような視点で行っているか。

森田財務課長

事務事業を検証するために、主要な施策・成果の報告書を作成しており、事業を実施する意義、必要性、手法の妥当性等、総合的な判断を行い事業の成果・効果に繋がり、次年度に生かせるように取り組んでいる。

宮田議員

行財政の改善・改革の視点に立ち、内部事務を含む、事務事業の効率化による、経費等の見直しへの取り組みが求められるが、本町の現状はどうか。

高瀬総務課長

行財政改善計画の推進に向け、業務一覧表、業務フローの作成に取り組み、業務量調査、業務フローの見直しによる、業務を可視化するツール等を活用して取り組みたい。

大屋町長

国・県の事業についての評価は難しいが、町の単独事業はきちんと評価し、次につなげる仕組みを構築しなければならず、全体の事務事業を見直し、職員の事務負担の軽減、効率化を探求しなければならない。

宮田議員

本町は内部統制に取り組んでいるが、業務の有効性・効率性等の目標達成と事務ミス・事故の分析にも取り

組んでいるか。

高瀬総務課長

内部統制の取り組みが業務の効率化には結びついておらず、業務の効率化を図る上では、業務自体の可視化が必要であり、業務調査の一環で行う業務フローの作成は、内部統制でも共通利用できる取り組みを考えている。

白須副町長

財政再建プロジェクトチームを立ち上げ、業務一覧表を作成後、業務フローの作成を考えている。内部統制と連携して、フロー図の作成に職員も参加することにより、財政再建の意識が高められることに期待する。

「邑南町環境みらい実行計画」
(事務事業編)

～地球を守る役場チャレンジプラン～



2024年3月改定
邑南町

「財政再建」に疑義あり

やまなか やすき
山中康樹 議員



町長 正しい財政運営を行う

山中康樹議員

大屋町長就任後の「財政再建」という言葉への町民の不安がある。7年度当初予算編成において、6年度決算見込み、標準財政規模、一般会計適正金額、経常収支比率、起債償還額などの項目に重点を置いたのか問う。

森田財務課長

実質公債費率12・5%（全国平均5・6%）で高め、経常収支比率93・6%と硬直化、標準財政規模は約70億円で持続的な財政運営が求められる、経常収支比率80%を目標に、財政調整基金を取り崩さない黒字決

算をめざす。

山中議員

町民への財政状況の周知方法、広報戦略を問う。

大屋町長

正しい財政運営を行い、町民へ丁寧な説明を行う。

山中議員

今後、邑南町ほどの事業に力を入れるのか。その決意と予算への反映について問う。

大屋町長

財政改善を基盤に、子育て応援と教育を柱に据え、定住対策と産業振興をめざしていく。特に地域と連携した子育て支援、ふるさと教育で魅力向上、教育環境の充実、新たな投資分野では、国スポ開催を視野に球場整備、コミュニティセンター建設を予算に反映している。主に企業版ふるさと納税の強化のための予算確保、トップ自らの姿勢としてハラスメント防止条例の制定、自身の交際費減額などで自らの姿勢を示した



山中議員

町長の「子育て・教育」重視に賛同し、交際費削減には反対する。積極的に外部と交流し新たな事業や情報を持ち帰るトップセールスマンとしての役割を期待する。

大屋町長

交際費削減は仕事縮小ではなく、行政機関との接待禁止など時代の変化に対応したもので、外部交流は交際費になり、必要な活動は今後もしていく。

山中議員

町民は財政状況を理解し

LED改修が行われるいわみスタジアム

ておらず、不安をおおる発言は逆効果ではないか。将来を担う若者に夢を語る必要があるのではないか。

大屋町長

財政難を率直に伝え、住民にも負担を求め、無責任な夢物語は語らず、

現実的な運営で信用を得たい。捻出した財源は住民サービスに還元し、将来の信用を得て実現性を高めていきたい。

その他の質問

山中議員はいわみスタジアムのLED改修で瑞穂スタジアムのLED化予定と、両球場のトイレ、ベンチ、フェンス等の老朽化を訴え、5年後の国スポに向けた改修計画はあるか、町単独か国スポ関連事業として行うのかを問いました。

のだ よしふみ

野田佳文 議員

議員のなり手不足の対策は

町長 議員から提案があれば協力する

野田佳文議員

町長は、議員のなり手不足という問題に対し、どのような課題認識を持ち、町として具体的に取り組むべき対策はあるか。

大屋町長

邑南町議会は議会基本条例があり、議会のことは、議会で自らしっかり考えるスタンスだと理解している。町議会として提案があれば、当然すべきことは協力する。

なり手不足や欠員は、さまざまな政策、私たちの考え、説明について十分に町民の方に伝わるか、町民のためになっているか、とい



推しの木を見つける自然体験

う点では、好ましいことではない。議員になることの良さ、魅力、プラス面をもっと伝えなければならぬ。

町民の方に、一番わかりやすいのは議場であり、議員として、執行部と町長とともに時間を過ごしたい、議論をしたいと思える空間であることが必要だ。議論することによって、新しいものが生み出されるとか、住民の意見がしっかりと反映されるとか、議員としての役割が果たせた成功体験など、実感が持てるように努力しないといけない。この場の良さをもっと伝えられ

るように、町としても努力をしていきたい。

問 居場所づくりの進捗は

野田議員

新たな居場所づくりについては進んでいるのか。

答 考えていく必要がある

田村学びのまち推進課長

引き続き調査研究は続けていく。関係機関の支援者のスキルアップ、情報共有を図り、今年度も研修会を引き続き計画したい。

大屋町長

学校に行きたい、みんなと遊びたい、勉強をしたい、という気持ちには応えていかなければならないが、一方で選んでは子どもたちということは、さまざまな場所がなければならぬ。

行政としてできることは限られているので、民間ができるところを応援したい。教育支援センターに来る子どもたちは、学校と連携ができて出校扱いになるが、民間の場合はどうなるのか、という課題がある。行政がしなければならぬ仕組みについても、しっかりと応援させてもらえば良い。

子どもたちが選べるよう、大人が作るという意味では、町として少し考えていく必要がある。

その他の質問

野田議員は、IoTを活用した見守り対策について、デジタル・デバイス対策について質問しました。

第18回 意見交換会を開催します

日時		会場		参加議員		
8月5日 (火)	午後7時～ 8時30分	日和公民館	研修室	漆谷 光夫	瀧田 均	日高八重美
		出羽公民館	ホール	辰田 直久	宮田 博	石國佳壽子
		口羽公民館	会議室大	中村 昌史	鍵本 亜紀	奈須 正宜
		高原公民館	ホール	山中 康樹	平野 一成	野田 佳文
8月8日 (金)	午後7時～ 8時30分	井原公民館	研修室	辰田 直久	宮田 博	石國佳壽子
		日貫公民館	研修室	中村 昌史	鍵本 亜紀	奈須 正宜
		田所公民館	農林研修室	山中 康樹	平野 一成	野田 佳文
		阿須那公民館	大会議室	漆谷 光夫	瀧田 均	日高八重美
8月12日 (火)	午後7時～ 8時30分	中野公民館	研修室	辰田 直久	宮田 博	石國佳壽子
		矢上公民館	研修室1.2	漆谷 光夫	瀧田 均	日高八重美
		市木公民館	和室	中村 昌史	鍵本 亜紀	奈須 正宜
		布施公民館	和室大	山中 康樹	平野 一成	野田 佳文



昨年の意見交換会

今年も、議会基本条例に基づき意見交換会を8月5日、8日、12日に開催します。

おかげさまで、18回目を迎えます。今年には町議会の選挙があり、12人での新しい議会がスタートしています。委員会の編成など大きく変わった中で、今後の邑南町に望むことや、日ごろ

から感じている事、家の周りでのご不便など気軽に話しに来ていただけたらと思います。

各地区、議員3名ずつで伺います。夜分開催で出かけにくいかとは思いますが、皆さんと意見交換することで、少しでもより住みやすい町になるよう一緒に考えていきましょう。幅広い年齢層の、たくさんの方のご参加をお待ちしております。

三階席

各地で議員のなり手不足問題が起きておりますが、4月の改選では、定数13人に満たない12人の立候補者にとどまり、県内でも記録に残る、昭和40年以降では初めての事態がまさか本町で、しかも自分が立候補した選挙で起きるとは。過去3回の議席は、厳しい選挙活動で拝命しておりましたので、今回は当選を祝福して戴いても、素直に喜べない気持ちでした。

改選後の初議会での一般質問者は、なぜか7名だけでしたが、その中の1人として、全国町村議会議員の平均年齢である64才を、大きく上回る76才に達した後期高齢者は、今回もしくしく、「行政改善改革」に関する質問をしました。再任となりました監査委員の職務と、「議会の使命と議員の職責」をしっかりと果たしてまいります。

宮田博

一般質問初日の午前中、10名の方が傍聴に来られました。
終了後、突撃インタビュー！



- ・この度の一般質問項目を見ると、基幹産業である米について質問がなかった。生産者のことも考えんと・・・
- ・前もって誰がどんな質問するか調整できんのかね・・・
- ・人口問題の質問があったが、どうしたら若者が帰ってくるかな、高校との関連もあるのかも地元で育った人の雇用を積極的に



島田さん 太田さん

- ・答弁は簡潔に。
- ・答弁の都度、議長に礼をするのは時間がもったいない。

傍聴席の声

- ・交通の便はよく考えてもらっている。いつか運転できなくなるが、町ばかり頼ってもいけん気もする。
- ・マイクをとおす声がよく聞こえなかった



議場の印象は！

- ・18年ぶりの傍聴にきた。傍聴席の椅子は背もたれが低いし、肘置きもよくない。座り心地が悪いなあ。
- ・執行部をなぜ「番外」と呼ぶの
- ・議席の順番はどうやって決められているの

突然でしたが、3名の方がインタビューに答えてくださいました。

率直なご意見、ご感想をありがとうございました。

傍聴席のなぜなぜコーナー

執行部はなぜ手を挙げる時に「番外」と言うの？

答 議員には議席番号がありますが、執行部には議席番号がないためです。

議席の順番はどうやって決まっているの？

答 当選回数順、同期は年齢順で決められています。

議会の傍聴にお越しください

9月定例会は、9月2日からの開催を予定しています。一般質問だけでなく、全員協議会などすべての議事が傍聴できます。お気軽にお越しください。

お問い合わせ先
議会事務局

TEL：0855-95-1113
I P：050-5207-3021

ご意見をお寄せください

この広報に限らず、議会のことについてご意見、ご質問などがございましたら、お気軽にご連絡ください。

広報公聴常任委員会

委員長 日高八重美
副委員長 石國佳壽子
委員 中村 昌史
瀧田 均
鍵本 亜紀
奈須 正宜



このQRコードからスマホでもご意見が寄せられます

自然と生きる神紅の郷



T's famのInsta

日貫地区「神紅」生産者

ぶどう屋 T's fam つじ さとし 聡志 さん

あなたの 声

神紅生産者の辻聡志さん
にお話を伺いました

◎ 邑南町に移住された

きっかけは。

元職では、子どもとの時間をとることが難しかったため、転職を考えていたところ、邑南町の研修制度が充実していることや、静かで住みやすそうだったので移住を決意しました

◎ 今後の展望、夢は。

行政に頼らず自分で開拓していくのが、私のスタイルです。具体的には、神紅



一粒一粒に愛情をこめて



親子で邑南町を満喫

も楽しませて
もらっています。
子育て面でも、仕事面でも大満足し

聞き手 奈須 正宜

◎ 最後に邑南町に来て

よかったですか。

親子で一緒に、都会ではできない自然の中での体験も楽しませてもらっています。子育て面でも、仕事面でも大満足し

今回の取材を通じて感じたことは、辻さんが仕事を楽しみ、終始笑顔で話してくれるところが印象的でした。そんな辻さんが作る神紅をお楽しみに。

ています



妹さんも移住してこられました

編集室の 窓



令和6年10月の補欠選挙で議員に就任し、新人議員の登竜門である広報公聴常任委員として活動を始めました▼折角の機会なので編集にも関わろうと、初めて触る編集ソフトや広報紙の構成を先輩議員に教わりながら取り組んでいます▼実のところ、議員になるまで議会だよりには今ほど関心がなかった私ですが、今は関心が無かった頃の自分を振り向かせる思いで、編集に情熱を注いでいます▼新聞の読み方も編集者側の目線で見出しを見たり、伝える側としての視点を意識するようにになりました▼関心がない方に関心をもってもらえる、面白いねって言ってもらえる議会だよりを目標にしています。

(石國佳壽子 記)